

家畜衛生だより 令和元年 12月号

紀北家畜保健衛生所	電話	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	電話	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	電話	0735-58-1481

堆肥の地域循環利用の促進

ニーズに合った堆肥を作り供給しましょう！

◎耕種農家が求める堆肥

1. 未熟堆肥でないこと

未熟堆肥を畑等に施用すると、土壌中でのガス発生等により根への障害が生じます。十分腐熟させましょう。

2. 有害なものを含まないこと

牧草や雑草の種子や、有害な重金属を含まないこと。人や動物が食べる作物を育てる畑に施用するため、有害物質が混ざらないようにしましょう。

3. 品質が安定していること

成分のバラつきが少ないこと。生産堆肥の成分分析を行い、特徴・特性をPRできるようにしましょう。

4. 取扱いやすいこと

水分量が適度でサラサラしていて、悪臭がないこと。施肥のしやすさは作業効率につながります。形状にも気を付けましょう。

5. 農家のニーズに合っていること

育てる作物により、堆肥に期待する効果は異なります。一般的に牛糞堆肥は土壌改良効果が高く、豚糞堆肥、鶏糞堆肥は肥料効果が高いと言われています。ニーズに合った堆肥を供給しましょう。

＜主な栽培作物と好まれる堆肥＞

好まれる堆肥	作物の種類（施肥特性）	主な栽培作物
土壌改良効果の高い堆肥 （牛糞もみがら堆肥等）	果菜類（少肥を好む）	イチゴ、メロン、スイカ カボチャ等
	果樹類 （多肥が品質低下を招く）	ブドウ、モモ、リンゴ等
肥料効果の高い堆肥 （豚糞堆肥、鶏糞堆肥）	葉菜類（多肥を好む）	キャベツ、ハクサイ、 ネギ、ホウレンソウ等
	果菜類（多肥を好む）	ピーマン、ナス等

（「特別栽培農産物等の家畜ふん堆肥利用の現状と以降調査」 H19.3 土壌協会）

◎堆肥の適正施用

堆肥は、土づくりの資材として貴重な有機資源で、堆肥を施用することにより、化学肥料を減肥することも可能です。適正な施用量を知るためには、堆肥の成分分析、施用前の土壌分析が重要です。

気になることや不明な点がありましたら、最寄りの家畜保健衛生所までお問い合わせください。